

公益社団法人全国運転代行協会

会長 丹澤 忠義



## 『緊急要望書』

### 運転代行事業者の事業存続のための支援策実施に係る要望について

平素より、運転代行業界の健全化と適正化に対して、ご指導とご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、飲酒運転撲滅の担い手である運転代行事業者は、『地域住民の安全な生活』を維持するために無くてはならない交通サービスとして、日々努力を続けております。また、一昨年の緊急事態宣言発令下においては、国土交通省自動車局から当協会宛てに発出された「事業の継続に係る要請等」の通知に基づき、万全の感染予防対策を講じながら、強い使命感を持って責務を果たしてきたエッセンシャルワーカーの一業種でございます。

令和2年2月からの2年間にわたって新型コロナウイルス感染拡大が続いていることに伴い、飲食業界と密接な関係にある運転代行業界におきましても、利用客が激減したままであります。業界団体である当協会では、事業者からの悲痛な訴えを重く受け止め、これまでに、運転代行事業者の事業支援を求める要望書を4度提出させていただき、一部の自治体では事業者への支援金給付が実施されており、大変有難く思っております。

しかしながら、長期間にわたるコロナ禍で代行事業者の経営基盤が弱まっていたところに、今月初旬からの新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」のかつてない急激な感染拡大によって、多くの運転代行事業者がさらなるダメージを受けることは自明の理であり、このままでは、当業界において、事業存続を断念せざるを得なくなる事業者が多発する懸念が強まっています。

つきましては、運転代行業界における現在の危機的状況をご勘案いただき、事業存続のためのご支援をいただきたく、『緊急要望書』を提出いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

運転代行事業者の大半は、経営基盤が脆弱な零細企業や個人事業主であり、今後も出現が予測される変異株や派生株の感染拡大によるコロナ禍が続きますと、事業継続が困難となり、多くの代行事業者が廃業や事業縮小を余儀なくされてしまいます。また、一方で、現在においても、運転代行事業者の廃業・休業や事業縮小により、事業者の手配が困難となっていることから、飲酒運転の事故に至ったとのニュースも目にしております。どうぞ、『地域社会の安全と安心の確保』のために、運転代行事業者が事業を存続し飲酒運転撲滅という社会的使命を果たせるよう、事業存続のための支援策を実施していただきたく、特段のご配慮をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。